

平成30年度 那須塩原市建設工事成績評価結果概要

1. 対象

那須塩原市が発注した設計金額130万円を超える建設工事かつ、平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）で契約検査課が実施する完成検査を終了した建設工事を対象とする。

表1. 建設工事完成検査件数

[単位：件]

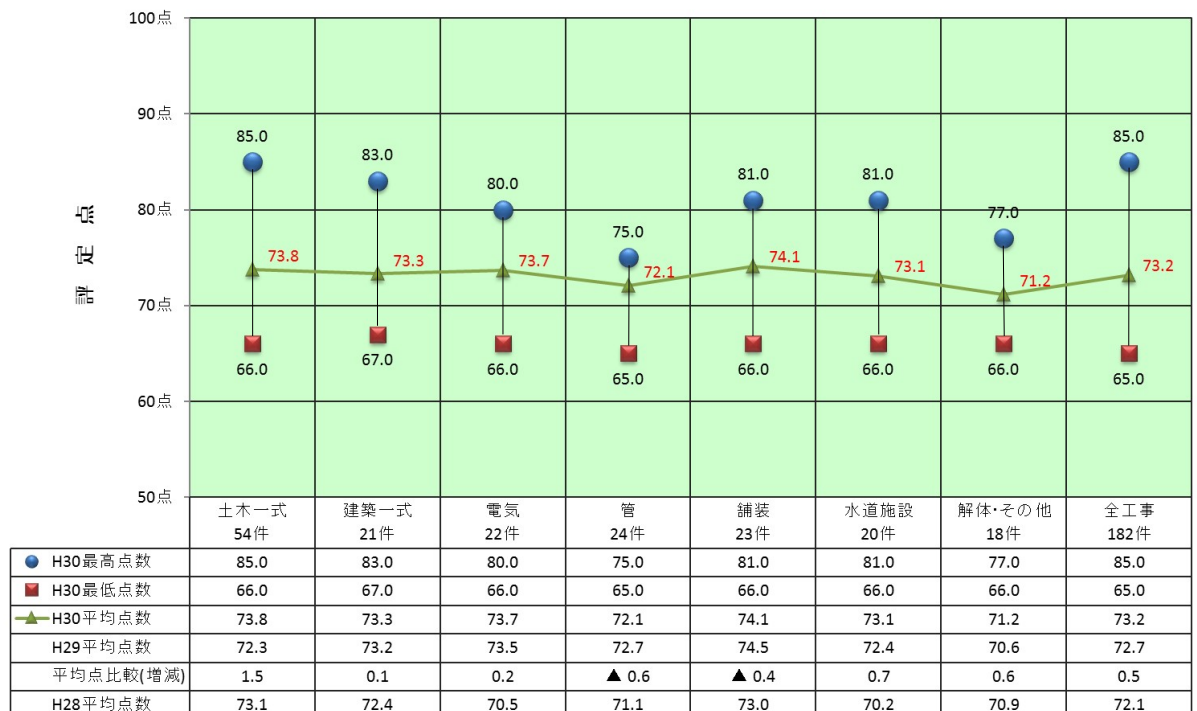
工種別	平成30年度	平成29年度	増減
土木一式工事	54	63	▲ 9
建築一式工事	21	22	▲ 1
電気工事	22	19	▲ 3
管工事	24	27	▲ 3
舗装工事	23	26	▲ 3
水道施設工事	20	22	▲ 2
解体・その他工事	18	22	▲ 4
計	182	201	▲ 19

2. 評定点

平成30年度に完成検査を実施した全工事の平均評定点は73.2点であり、直近3か年の傾向は上昇傾向にある。（図1参照）

前年度と比較すると、全体で0.5ポイント上昇し、工種別では、管工事、舗装工事は減少したが、それら以外の工種は上昇する結果となった。

図1. 工事成績評価結果（工種別）



3. 総合評価

総合評価のランク（以下、評価という。）別に分類した場合の工事件数は、A評価は17件、B評価は47件、C評価は118件、D評価、E評価はともに0件である。（図2参照）

A評価対象工事については、平成29年度の9件（4.5%）から、平成30年度は17件（9.3%）と大幅に上昇している。（図2、図3参照）受注者の技術力が向上している面もあるが、受注額5000万を超える工事が17件中13件あり、多くの評価項目に該当しやすい、施工規模・施工難度が高い工事の完成が多くあったことが影響していると思われる。

また、B評価も同様に比較すると、平成29年度の66件（32.8%）から、47件（25.8%）と件数、割合ともに減少しており、管工事、舗装工事のB評価の減少によるところが大きい。C評価については、平成29年度の123件（61.2%）から、118件（64.9%）と前年度とほぼ同じ割合となっている。指名に影響を及ぼすおそれのあるE評価、改善を要するD評価はともに0件と、前年度と比べ改善が見られる。

図2. 平成30年度工事成績評定結果（工種別総合評価）

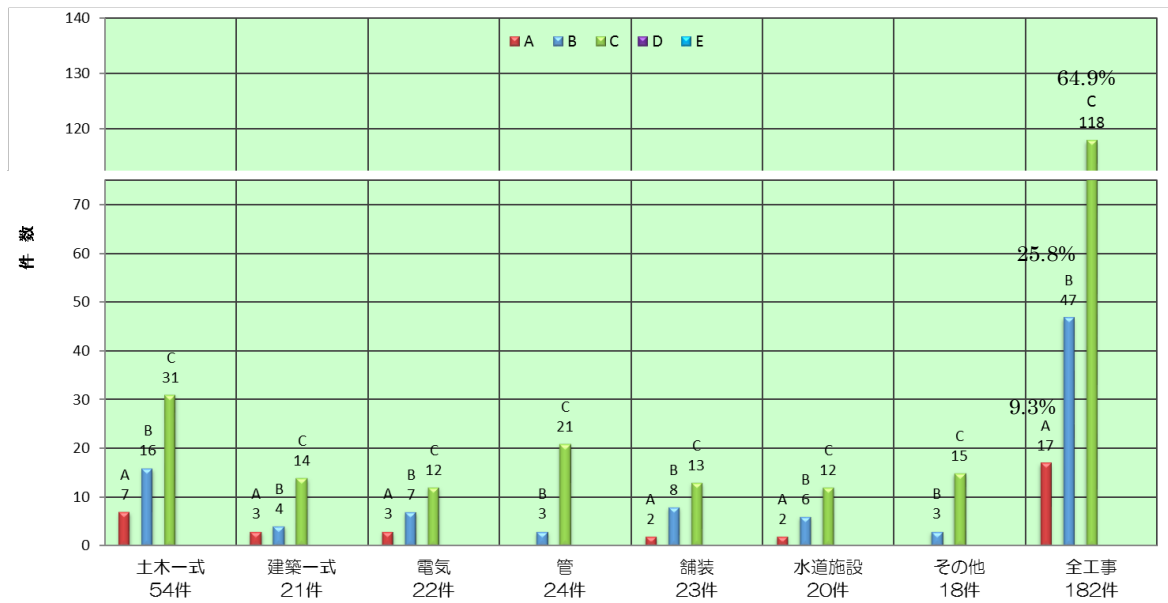


図3. 平成29年度工事成績評定結果（工種別総合評価）

